

コルク先輩写真館



恐怖におののきました。



ちゃんとやれるかな？

タカス野球シーズン終了

2013年はちゅうそんオウガバトルが優勝。2012年はオウガバトルは準優勝でした。今年も打撃好調で前半から首位を独走。投手陣は最後まで安定せず

順位	10/15	合計pt	打撃pt	投手pt
1	オウガ	26	20	6
2	アルバ	24	4	20
3	エクス	17	14	3
4	ヨット	16	8	8
5	みっつ	15	5	10
6	おすけ	15	1	14
7	ナッツ	14	7	7
8	オメガ	10	10	0
9	たろう	7	6	1
10	天才	6	2	4
11	カウパ	5	3	2
12	はにこ	5	0	5

チームセーブベスト3	
1	みっつ 74
2	オウガ 57
3	ナッツ 53
チームホールドベスト3	
1	カウパ 89
2	オウガ 81
3	みっつ 80
チーム奪三振ベスト3	
1	アルバ 981
2	ヨット 910
3	カウパ 786
チーム防御率ベスト3	
1	おすけ 3.08
2	ナッツ 3.46
3	アルバ 3.53

ションション

最後に小便を漏らしたのは、確か小学校一年生の下校時だ。
激しい尿意をもよおした一年生の僕は立小便をしようとしたが、まわりの友人や上級生に「立ちションしたら、逮捕されるぞー」という囃し立てにより、立ちションも我慢できず、ズボンを履いたまま、ジュワーと漏らしてしまった。非常に苦い思い出だ。
昨日、三十余年ぶりに漏らす危機に瀕した。昨日は「きっと、うまくいく」というインド映画を観に行った。折角なので座席は中段の真ん中らへん。一番見やすく、音響のバランスも良さそうなところだ。
2時間50分という長丁場の映画なので、前もってトイレに行っていたが、

チーム打率ベスト3		打率ベスト5	10/15		ホールドベスト5		
1	みっつ .280	1	ルナ	みっつ .350	1	佐藤 達也	カウパ 40
2	ナッツ .277	2	長谷川 勇也	たろう .341	2	マシソン	ハニコ 40
3	オウガ .273	3	ブランコ	ナッツ .333	3	山口 鉄也	たろう 38
チーム打点ベスト3		4	バレンティン	ナッツ .330	4	宮西 尚生	おす 30
1	オウガ 640	5	今江 敏晃	カウパ .325	5	増井 浩俊	みっつ 28
2	オメガ 547	本塁打ベスト5		1	勝ち星ベスト5		
3	ナッツ 543	1	バレンティン	ナッツ 60	1	田中 将大	おす 24
チーム本塁打ベスト3		2	ブランコ	ナッツ 41	2	小川 泰弘	アルバ 16
1	ナッツ 167	3	阿部 慎之助	オメガ 32	3	前田 健太	おす 15
2	オウガ 134	4	アブレイユ	オメガ 31	4	金子 千尋	アルバ 15
3	オメガ 132	5	マギー	ナッツ 28	5	攝津 正	ヨット 15
チーム安打ベスト3		打点ベスト5		1	セーブベスト5		
1	オウガ 1371	1	ブランコ	ナッツ 136	1	西村 健太朗	ヨット 42
2	エクス 1172	2	バレンティン	ナッツ 131	2	岩瀬 仁紀	オウガ 36
3	ヨット 1127	3	浅村 栄斗	ヨット 110	3	益田 直也	エクス 33
チーム盗塁ベスト3		4	アブレイユ	オメガ 95	4	平野 佳寿	みっつ 31
1	エクス 160	5	ジョーンズ	ヨット 94	5	武田 久	アルバ 31
2	ヨット 87	安打数ベスト5		1	奪三振ベスト5		
3	オウガ 75	1	長谷川 勇也	たろう 198	1	金子 千尋	アルバ 200
チーム犠打ベスト3		2	内川 聖一	アルバ 180	2	田中 将大	おす 183
1	エクス 180	3	マートン	みっつ 178	3	メッセンジャー	ヨット 183
2	ヨット 114	4	浅村 栄斗	ヨット 172	4	前田 健太	おす 158
3	天才 102	5	長野 久義	アルバ 166	5	菅野 智之	アルバ 155
チーム出塁率ベスト3		盗塁ベスト5		1	陽 岱鋼	ナッツ 47	
1	ナッツ .365	1	陽 岱鋼	ナッツ 47	2	ヘルマン	エクス 40
2	エクス .352	2	ヘルマン	エクス 40	3	糸井 嘉男	オウガ 33
3	ヨット .352	3	糸井 嘉男	オウガ 33	4	丸 佳浩	エクス 29
チーム塁打ベスト3		4	丸 佳浩	エクス 29	5	荻野 貴司	アルバ 26
1	オウガ 2060	犠打ベスト5		1	今宮 健太	エクス 62	
2	オメガ 1664	1	今宮 健太	エクス 62	2	菊池 涼介	ハニコ 50
3	エクス 1657	2	菊池 涼介	ハニコ 50	3	安達 一	エクス 38

金森君1

昨日、エアグルーヴという馬が死んだ。20歳という高齢で最後の仔を産み、それが原因の内出血で死んでしまった。
金森君は18年位前にバイトで知り合ったひとつ下の男。何故かすごく気が合い、よく飲みに行ったり、遊びに行ったりしていた。僕は金森君を略して、「モリくん」と呼んでいた。
モリくんは競馬好きで中でもエアグルーヴが好きだった。理由はあった気がするが忘れた。
大きなレースがあるときはよく二人で府中競馬場に行った。
天皇賞秋というレースがあり、モリくんはエアグルーヴの単勝を5万円買った。今思えば、当時の金銭価値は今の5倍くらいな気がするので、今でいうと25万円位を一点買いたのだ。ありえない。
しかし、エアグルーヴは見事、歴戦の強敵を負かし、勝利。
モリくんは約25万を獲得した。今のお金でいうと100万円以上だ。
小躍りして喜ぶモリくんと、数千円負けて不機嫌な僕。
僕は悔しさ半分で、「今日はおごってね」と言った。
モリくんは快諾した。
その日は白木屋で死ぬほど食って、飲んだ。途中でモリくんが酔いつぶれたので、人生初のボトルキープまでしてやった。支払いは全部モリくん持ちだ。
しかし、白木屋では二人で1万数千円。大したダメージをモリくんには与えることはできなかった。
続いて酔いつぶれたモリくんをカラオケに運び、一人で朝方まで歌った。1時間に一回かかってくる延長の電話にすべて「延長で」と答えた。モリくんは寝ていた。明け方になってモリくんが起き、4時間くらい一人で歌っていた僕に「ずるい」と言い。シャズナのメルティラブを5連続くらいで歌った。徹夜の影響もあって、僕は爆笑しながらそれを聞いていた。
カラオケ代は2人で1万だった。今よりカラオケはだいぶ高かったのだ。それももちろんモリくん持ちだ。
まあ、それでも大富豪になったモリくんには屁でもないと思われ、しばらくはモリくんの優雅な生活が続くと思われた。しかし、このエアグルーヴマネーが思わぬ事件を引き起こし、1週間後にはモリくんは大貧民になっていた。
果たしてモリくんに何が起こったのか。

映画を見ながら飲んでいたジンジャエールがだんだんと膀胱にたまっていくのが分かった。
尿意が結構限界に近い状態になったころ、そろそろ終わりに近いかなと思っていたところで、画面に「interval 引き続きお楽しみください」の文字が。インドでは休憩タイムだったんだろうが、日本では続行。しかも、まだ折り返し地点だということが判明。絶望的な気持ちだ。
トイレに行こうかと思ったが、結構お客さんは入っていて、どちらの方向に行っても8人くらいに迷惑をかけてしまう。それよりも人を避けるときに不自然な体制になって漏らすかもしれないという不安もあり我慢することに。
映画自体は爽やかな感動あり、笑いありの素晴らしい映画だった。映画の中で主人公が「aii is well (きつとうまくいく)」というのを困ったときに呟いていたが、僕もいっしょに「all is well all is well…」と心の中で呟きながら我慢した。
エンドロールが終わって会場が明るくなってから、不自然な歩き方でトイレにやっとのことでたどり着いた。こんなに止まらない小便の経験は初めてだった。